



「2学期開始」

校長 望月雄紀

2学期が始まって、早くも2週間が過ぎました。秋休みはいかがだったでしょうか？休み中には吹奏楽部の定期演奏会や那覇まつり、部活動の大会などがありました。個人的には、吹奏楽部の定期演奏会での素晴らしい演奏で、音楽鑑賞の秋を満喫することができました。会場も満員のお客さんと賑わっていました。

ところで、私は秋休み期間に全国中学校校長会岩手大会へ出席してきました。例年よりは気温が高めとのことでしたが、内地の清々しい秋を感じることができました。そこで拝聴した記念講演の話について紹介したいと思います。演題「黄金の國いわて発 銀河系経由 ブラックホールへの旅」、講師は国立天文台水沢観測所所長の本間希樹さんでした。本間さんは、ブラックホールの撮影に成功した国際プロジェクトの日本側研究者の日本代表を務めた方です。講演の冒頭で、「私の話を聞きながら、気づきを意識してほしい」とお願いがありました。はて？「気づき」とは？と思いながら聞いていました。以下の話しが印象に残りました。

「100年以上前に、スマホの起源につながる人工電波の生成に成功した研究者が、『これは何の役に立つのか？』の質問に『多分、何の役にも立たないと思う』と答えました。しかし、この研究のお陰で人類は電波を自由自在に使えるようになり、スマホが開発され現代人に大きく関わっています。人類の発見は、役に立たない研究や一見すると自分には関係なさそうな研究の積み重ねでできています。学校教育においても、生徒が自分に関係ないと思う学習でも、将来に大きく関わるかもしれません。自分事として捉えさせるためには「共感」の度合いを増やすことだと思います。「共感」できないことは自分に関係ないと思いますね。授業に、実験や歴史背景、苦労話などを盛り込むと「共感」しやすくなるようです。」

まさしく、この話しに「共感」しました。本校でも日頃から取り組んでいる授業改善（生徒の興味関心の高揚を図る工夫）に合致する話でした。

1学期終業式・2学期始業式

10月11日に1学期の終業式、21日に2学期始業式を行いました。それぞれの式では1年生から3年生までの代表の生徒が挨拶をしてくれました。中略して紹介します。

[1学期終業式]

○「(前略)一番印象に残っている行事は先日行われた合唱コンクールです。(中略)パートリーダーを中心に毎日朝練や放課後練習に励んできました。(中略)1学年全体で楽しむことができ、良い思い出になりました。私たち1学年の良い点は、何事にも挑戦し、うるさいほど元気です。(中略)しかし授業と休み時間のメリハリをつけることが苦手でおしゃべりが多く騒がしくなります。2学期からは反省点や課題点を解決し、よりよい授業になるように努力したいです。【1年生代表】

○「私たち2年生は何事にも全力で楽しみ、全力で取り組むことができる学年です。1学期最初の行事である新入生歓迎スポレク大会ではクラス一丸となってどの競技も楽しむことができました。(中略)そんな私たちですが、前年度から授業開始の3分前まで三角コーナーにいる生徒が多く、チャイムと同時に授業内容に入ることができませんでした。しかし、2分前着席を徹底する取り組みを始めてからは級長を初め気付いた人が声かけを行うなどして多くの生徒が授業に間に合うようになりました。(中略)2学年では2学期に修学旅行を控えています。(中略)行動を素早く、集中力を高め、気持ちをうまく切り替えられるような取り組みをがんばっていききたいと思います。【2年生代表】

○「(前略)私たち3年生はクラスメイトと協力し団結して各目標に向かってがんばってきました。(中略)行事を通して更に成長してきました。しかし、時計を見て行動できない、タブレットの使用方法など様々な課題があります。そのような課題をクリアしていくことは、3年生全体の雰囲気を作っていくこととなります。(中略)受験生としての自覚を深め勉強へ向けて意欲向上を目指したいです。(中略)

お互い支え合い信じ合って乗り越えていきましょう。【3年生代表】

【2学期始業式】

○「2学期にはYORIMPICなど行事があります。学級、学年、団で一致団結して成功させ、楽しい思い出をたくさん作りたいです。(中略)1年生の課題は3つあります。1つめは移動教室で授業に遅れること。2つめは授業中の私語、3つめは当番活動をやらない人がいることです。(中略)これらの課題を改善し後輩のお手本になれるように一人一人が意識して取り組んでいきましょう。【1年生代表】

○「(前略)1学期は盛り上がると中々授業に身が入らなくなり、気持ちの切り替えに時間がかかる課題が挙げられました。2学期は課題改善に学年全体で取り組んでいきたいと思ひます。(中略)良い点も多く見られました。男女問わず仲が良いことや授業中に教え合いができることです。継続していききたいと思ひます。1ヶ月後には楽しみにしている修学旅行があります。(中略)「2分前行動」や「挨拶」「礼儀」などを学校外でもできるように取り組んで行きたいです。【2年生代表】

○「(前略)私が3年生になって学んだことは大きく分けて2つあります。1つめは、団結する大切さです。(中略)合唱コンクールで団結すると大きな力を発揮することを知りました。(中略)2つめは、計画性を持つことの重要さです。私は夏休みの間、1,2年生の復習に取り組みました。膨大な量に苦戦しましたが、友だちと助け合って、コツコツ計画的に進めました。(中略)模試の成績が向上しました。(中略)3年生は受験まで半年を切りました。(中略)学級で力を合わせて支え合えば乗り越えられるはずです。(中略)悔いのない学校生活にしていきたいと思います。【3年生代表】

駅伝大会

10月21日始業式終了後に那覇地区駅伝選手激励会が開催されました。男子キャプテン(2年)からは、「僕たちは夏休み明けからの練習で期間が短い中、練習をがんばってきました。日々のきつい練習を乗り越えて3年生がいない中でもモチベーションを下げずにここまで練習をしてきました。おにぎりやパンを用意してくれたビビアン先生たちのためにも地区を突破して石垣に行けるようにがんばります。」女子キャプテン(2年)からは、「私たち駅伝メンバーはみんなが緊張していてなかなか良い雰囲気練習できなかつたり、練習に参加する生徒人数が少なかつたりとあまりまとまりのないチームでした。ですが大会が近くなつて行くにつれて日々の練習にやる気を感じたりチームとして互いに声を掛け合つたりするなど仲が深まっています。そんな私たちが目標にしていることは、みんなが全力で楽しみ、最後まで襷を繋ぐことです。一生懸命にがんばりますので応援をよろしくお願いします。」



応援メッセージ

○結果は、男女ともに20位でした。以下は男女監督の感想です。



10月27日(日)に行われた那覇地区中学校駅伝競走大会に女子8名を率いて出場しました。女子は、第1区から第5区まで計12kmのコースで襷を繋ぎ、駆け抜けました。結果は、出場25校中20位と悔しさが残った生徒もいたのではないかと思います。しかし、炎天下の中1つの襷を繋ぐために一生懸命走る姿が見られました。また、仲間の頑張りを称える応援や声かけなど、チームとして取り組んでいる姿に感動しました。駅伝の取り組みを通して、様々な生徒と関わることができました。大会に出場

した生徒だけでなく、マネージャーとして選手を支えてくれた生徒、惜しくも登録を外れたが最後まで練習に取り組んでくれた生徒、一緒に練習に励んだ部活動生の皆さん、きつい練習もあったと思ひますが、日々の練習に一生懸命取り組む皆さんの姿はとてまかつこよかつたです。また、指導やサポート、声かけや送迎などをして頂いた先生方や保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

【女子監督】



駅伝大会が無事に終了し、生徒たちの健闘を心からたたえたいと思ひます。生徒たちの練習風景を見ていると、最初は戸惑いや不安が見え隠れしていましたが、日々の練習を重ねるにつれて、チームとしての意識が芽生え、一体感ができたことが印象的でした。特に、大会本番では炎天下の中、最後まで諦めずに走り抜く生徒たちの姿には心から感動しました。今回の駅伝の取り組みを通して、生徒たちは体力だけでなく、精神面でも大きく成長したと思ひます。この経験が、生徒たちの今後の学校生活や社会生活において、大きな力となることを願っています。また今回の大会は1年生と2年生中心のチームで挑みました。この経験を糧に来年の久米島大会でさらに成長した姿を見せてくれることを期待しています。最後に、今回の駅伝の取り組みにご尽力いただいた職員や保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

【男子監督】